

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.7 基本目標1 「地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む」
基本的方向(1) 「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援」
具体的な施策①「結婚・出産に対する支援」

滝口委員

若い世代の定住や出生数の増加のために、結婚は大変重要ですので、社会福祉協議会でも結婚相談などの事業を実施していますが、市役所でも結婚に向けた支援を推進した方が良いと思います。また、施策の成果を量るため、結婚数を重要業績評価指標(KPI)にしたらいかがでしょうか。

[市の考え方・対応]

結婚は、その後の出産や定住に繋がる重要な施策であると考えます。本戦略においては、観光にも繋がるイベントとして結婚に向けた出会いの機会を提供する取組を推進します。

なお、婚姻件数は住民登録地、本籍地、婚姻届出地などの相互関係から、KPIに繋がる指標としての数値の設定は難しいと考えますが、結婚に向けたイベントを実施するだけで終わらず、実施後にカップルとなった方々を把握し、その後に繋がる取組をしていこうと考えております。

6行目

あわせて、関係機関等と連携し、結婚に向けた出会いの機会を創出するイベントを開催するとともに、関係団体等による婚活事業に対し支援します。

主な取組

結婚に向けた出会いの機会の創出（観光振興課）

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.10 基本目標1 「地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む」
基本的方向(2) 「働きながら産み育てやすい環境づくり」
具体的な施策②「子育て世代の経済的自立支援」

鶴岡委員

重要業績評価指標(KPI)の2つめ、「子育て中の方を対象とした就労支援セミナー参加者数」というのは平成30年度実績値が26人とのことですが、これは指標として適切な数値なのでしょうか。他にもっと適切な KPI は考えられますか。

【市の考え方・対応】

対象としている就労支援セミナーでは、パソコン講座や地元企業の採用条件等に関する説明会などを想定しています。現時点ではセミナーの定員が目標値の30人となっており、就労に繋がる取組となるよう受講者に対してきめ細かいサポートを実施しています。

現時点でKPIは、参加者数とさせていただきますが、今後参加者が増えるよう取組を工夫するとともに、就労に繋がる支援のさらなる充実に向けて取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）

「子育て中の方を対象とした就労支援セミナー参加者数」

現状値 27 人（令和元年度）

目標値 30 人（令和4年度）

前回懇談会における意見及び市の考え方等

- P.11** 基本目標1 「地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む」
 基本的方向(3) 「木更津っ子を育む教育の充実」
 具体的な施策①「木更津っ子を育む教育の充実」

丸橋委員

外国語教育について、グローバル化に対応した教育の充実とは、具体的に何をするのでしょうか。木更津独自の取組があるといいと思います。

【市の考え方・対応】

外国語教育につきましては、小学校で英語が教科化をするにあたり、外国語指導助手(ALT)を拡充し、全学校の英語の授業に教員とともに配置します。このALTによる「生きた英語」に触れることにより、コミュニケーション能力の向上を図り、グローバル社会に向けた外国語教育の充実に取り組めます。

なお、施策の内容に対する表現を修正いたしました。

[修正前]

3行目

また、教職員の資質向上に努め、グローバル化に対応した外国語教育の充実に取り組むとともに、外国文化や外国語に対する興味・関心を高めるため、外国語指導助手(ALT)を効果的に活用し、国際理解教育を推進します。

[修正後]

3行目

また、教職員の資質向上に努めるとともに、小学校における英語の教科化に伴う、外国語指導助手(ALT)の増員と効果的な活用により、グローバル社会に向けた外国語教育の充実を図り、国際理解教育を推進します。

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.16 基本目標2 「多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる」
基本的方向(1) 「農林水産業の成長産業化への支援」
具体的な施策②「食育の推進」

鶴岡委員

地産地消や食育を推進するため、木更津産の農産物(野菜・肉・魚等)の学校給食への提供割合を重要業績評価指標(KPI)に設定してはいかがでしょうか。

【市の考え方・対応】

地元産の農産物を学校給食へ提供し、食育を推進することは、児童生徒の地域に対する食文化や産業に対する理解や生産者への感謝の心を育むため重要な取組と考えます。

KPIに「学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合」を追加しました。

重要業績評価指標 (KPI)

「学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合」

現状値 39.3% (令和元年度)

目標値 41.0% (令和4年度)

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.16 基本目標2 「多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる」
基本的方向(1) 「農林水産業の成長産業化への支援」
具体的な施策②「食育の推進」

平野委員

有機米の学校給食における提供割合は、令和4年度の目標値が43%と、かなり高い数値となっています。重要業績評価指標(KPI)は、実現可能な数値を設定し、それに向け推進していくべきものだと思いますが、この目標値は実現可能な数値なのでしょうか。

[市の考え方・対応]

市内における有機米生産は、今年度からの取組です。現在、食育推進計画の策定をしており、有機米についても学校給食への提供割合100%に向け取り組んでまいります。協力して下さる生産者の方も今後増える見込みであり、施策として目指すべき意義あるものであると考えております。

重要業績評価指標 (KPI)

「学校給食における有機米の提供割合」

現状値 2.4% (令和元年度)

目標値 43.0% (令和4年度)

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.22 基本目標2 「多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる」
基本的方向(2) 「産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援」
具体的な施策③ 「電子地域通貨「アクアコイン」を活用した地域経済活性化の推進」

浜端委員

アクアコインの普及を施策として推進するにあたり、重要業績評価指標(KPI)として加盟店数や利用金額を設定していますが、単純にアクアコインを導入した店舗数というのではなく、例えば、企業が普及推進のため取組を開始した数のようなものを指標に設定してはどうでしょうか。

[市の考え方・対応]

加盟店を増やし、利用者及び利用金額を増やすこと自体も重要な目標であり、指標に設定して増加を目指すことは施策の推進としてまず必要なことであると考えます。

その上で、さらなる普及促進のため、流通・定着の状況を量る指針として、KPIとして「加盟店間取引コイン数」を設定しました。

重要業績評価指標 (KPI)

「加盟店間取引コイン数」

現状値 1,014 万コイン (令和元年度)

目標値 4,000 万コイン (令和4年度)

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.29 基本目標3「自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する」
基本的方向(1)「多様なライフスタイルがかなう定住の促進」
具体的な施策①「街なか・農村への定住促進」

刈込委員

空家をリフォームして再販することはニーズも多く、人を呼ぶためには効果が高いと思います。
さらなる推進を図ったらいかがでしょうか。

【市の考え方・対応】

定住に向けた施策として、空家バンク制度及び空家リフォーム助成制度を活用した、空家等の利用を引き続き促進してまいります。本戦略では取組として「空家リフォーム助成制度の活用促進」を設定し、取り組んでまいります。

重要業績評価指標（KPI）

「空家バンクを通じた空家の利活用した件数【平成30年度からの累計】」

現状値 2戸（令和元年度）

目標値 40戸（令和4年度）

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.37 基本目標3 「自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する」
基本的方向(5) 「多様な地域資源を活かした関係人口の創出」
具体的な施策①「都市と農村漁村の関わり方強化」

秋川委員

街なかの賑わいも大切ですが、それだけではなく、富来田地区にも観光客が訪れるような施策を入れていただきたいです。

【市の考え方・対応】

地域と定期的な関わりを持つ関係人口を創出するためにも、都市と農村部や漁村部の交流を促進することが重要と考えます。富来田地区に関しましては、道の駅「木更津うまぐたの里」を拠点に産業振興や観光振興に取り組みます。なお、2月1日より木更津東インターチェンジから道の駅「木更津 うまぐたの里」等への一時退出を可能とする「賢い料金」の社会実験が開始されましたので、地域の多様な主体と連携し、社会実験の効果を地域振興に結びつけるよう努めます。

2行目

・・・道の駅「木更津 うまぐたの里」や「木更津市公設地方卸売市場」などを拠点とした産業振興や観光振興に取り組み、都市と農村部や漁村部の交流促進を行うことで、関係人口の創出・拡大を図ります。

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.48 基本目標4 「市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する」
基本的方向(5) 「安心して暮らしやすい防災都市づくり」
具体的な施策①「地域防災の体制充実」

北村委員

今までは大規模地震などを想定した屋外を含めた避難場所を確保していたと思いますが、屋内への避難が必要となる台風などによる大規模な災害が発生した場合、避難所が不足し、市民が避難できない状況に陥る可能性があります。公共施設はもちろんのこと、民間企業と連携して避難所を確保する必要があると思います。

[市の考え方・対応]

避難所の確保については、喫緊の課題であると認識しています。

来年度策定する国土強靱化計画において、防災の基盤整備の方向性や具体的な取組を明らかにしてまいります。

1 行目

大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らず、迅速な復旧・復興ができるまちを目指すため、新たに「国土強靱化計画」を策定し、あわせて「地域防災計画」や「業務継続計画」の見直しに取り組むとともに、災害用備蓄用品の配備や各避難所における電源確保に努めるなど、防災基盤の整備を推進します。

前回懇談会における意見及び市の考え方等

P.48 基本目標4 「市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する」
基本的方向(5) 「安心して暮らしやすい防災都市づくり」
具体的な施策①「地域防災の体制充実」

浜端委員

令和元年度の台風等の災害を踏まえて、早急に防災対策を強化する必要があると思います。
重要業績評価指標(KPI)に、来年度からすぐに着手すべきことに関するものを設定してはいかがでしょうか。

[市の考え方・対応]

今回の台風等による災害により、市民生活や産業は甚大な影響を受け、防災対策の速やかな見直しや改善が課題として明らかになりました。まずは国土強靱化計画の策定を進め、あわせて各計画の見直しに取り組み、防災基盤を整備してまいります。

1 行目

大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らず、迅速な復旧・復興ができるまちを目指すため、新たに「国土強靱化計画」を策定し、あわせて「地域防災計画」や「業務継続計画」の見直しに取り組むとともに、災害用備蓄用品の配備や各避難所における電源確保に努めるなど、防災基盤の整備を推進します。